

事務事業評価票

担当課	教育委員会	部	体育	課	社会体育	係	事務事業No.	110514			
事務事業名	体育大会運営事業					会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					款	10	項	5	目	1
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実										
施策項目	スポーツの振興										
前期計画掲載頁	47		頁	個別計画	スポーツ振興計画						
事業期間	平成	26	年	～	平成	35	年	根拠法令・要綱等			

事業の目的	市民スポーツ祭を始め各種競技大会の開催や、様々な競技における全国大会等を誘致し、トップレベルの選手が参加する大会を開催する中で、市民との交流やスポーツの活性化を図る。								
事業内容	夏季、冬季の市民スポーツ祭、少年少女球技大会、木崎湖カップカヌー大会などの開催及びアルプスマラソン、大北スポーツ競技会、大北縦断駅伝大会、県縦断駅伝大会、復興支援サッカー大会等への負担金の支出								
事業費	年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		
	総事業費（決算額）		7,518,516 円		8,712,605 円		5,513,720 円		
	財源内訳	国庫支出金		円		円		円	
		県支出金		円		円		円	
		起債		円		円		円	
		その他財源		円		円		円	
一般財源		7,518,516 円		8,712,605 円		5,513,720 円			
活動指標	指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）
				実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	市民スポーツ祭	競技数	19	19	17	19	89.5%	19
	②	市主催スポーツ大会	大会数	8	8	7	8	87.5%	8
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①	市民スポーツ祭	参加人数	1,667	1,688	1,505	1,600	94.1%	1,600
	②	スポーツ大会	参加人数	1,936	1,959	1,857	1,900	97.7%	1,900
	③								
	2. 数値で表せない効果		(指標)						

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	普通	高い	重複なし	普通	改善の余地あり			
点数	3	2	3	3	2	2		18		

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	市民スポーツ祭を始め市主催の大会等は、体育協会やスポーツ推進委員会の協力により運営している。参加者は少子高齢化の影響により、特に分館対抗による競技が合同チームとなるなど、参加チームも減少傾向にある。大会要項の見直し等により多くの市民が参加できる大会とすることが必要と考える。 アルプスマラソンは、29年度から松本マラソンも開催されるなど、県内各地でシティーマラソンとしてのイベント開催が多くなっていることなどから、参加者の減少がみられるため、魅力的な大会となるよう検討が必要。
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）	市民スポーツ祭等の分館対抗による競技は、合同チームでの参加条件である分館数の制限を緩和し参加チームを増やすことや、分館対抗の制限を撤廃するなどの検討を行いたい。また、競技日程も同種の競技が重ならないよう日程を調整する。 アルプスマラソンは、他のマラソンイベントより、参加者が魅力を感じる大会となるよう取り組み参加者増を図るとともに、有名選手又は有名人を招いた大会等を検討する。

事務事業評価票

担当課	教育委員会	部	体育	課	社会体育	係	事務事業No.	110515			
事務事業名	スポーツ振興事業					会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					款	10	項	5	目	1
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実										
施策項目	スポーツの振興										
前期計画登載頁	47		頁	個別計画	スポーツ推進計画			頁			
事業期間	平成	26	年	～	平成	35	年	根拠法令・要綱等			

事業の目的	市民一人ひとりが、それぞれの年齢や体力に応じて気軽にスポーツに親しみ、いきいきと健康で元気に過ごすことができるよう、スポーツ教室や健康教室、各種スポーツ大会等の開催など、スポーツを通じた市民の健康増進と競技力の向上を図る。									
事業内容	【スポーツ教室】運動遊び教室（巡回運動遊び）、小学生対象スキー教室、トレーニング講座など 【補助金・負担金】総合型地域スポーツクラブへの負担金、体育協会、スポーツ少年団への補助 スポーツ振興事業（青少年スポーツ振興、生涯スポーツ振興、指導者等人材育成） 【松本山雅の活用】小学校、保育園等での巡回指導、ホームタウンデー等での大町市のPRなど 【その他】JAF「夢の教室」、スポーツイベント（スポフェスおおまち）開催									
事業費	年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度			
	総事業費（決算額）		11,319,763 円		10,592,245 円		9,998,078 円			
	財源内訳	国庫支出金		円		円		円		
		県支出金		円		円		0 円		
		起債		円		円		円		
		その他財源		円		円		円		
一般財源		11,319,763 円		10,592,245 円		9,998,078 円				
活動指標	指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
				実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	スポーツ教室	回	82	104	99	110	90.0%	100	
	②	スポーツクラブ競技数	競技	8	8	8	10	80.0%	10	
③	スポフェスおおまち参加団体	団体		6	6	12	50.0%	10		
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）		
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	スポーツ教室	人	3,400	3,208	3,045	3,200	95.2%	3,200	
	②	スポーツクラブ加入者数	人	253	242	241	250	96.4%	250	
	③	スポフェスおおまち参加者数	人		500	600	1,000	60.0%	1,000	
	2. 数値で表せない効果		(指標)							

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	高い	高い	一部重複	普通	改善の余地あり			
点数	3	3	3	2	2	2		18		

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）										
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室は、年齢や体力、目的等に応じたスポーツによる健康、体力づくりと、誰もが気軽に参加できるニュースポーツ等の教室を主に開催をしているが、教室の開催数等を増やすことは現状では人的、日程的に困難である。 ・スポーツ振興事業補助金については、生涯スポーツ振興及び指導者等人材育成事業について、周知が不十分な面があり申請がない状況であった。また、青少年スポーツ振興事業は17件の申請があった。各事業の効果的な運用を図るため、補助金の見直しを図っていく。 ・総合型地域スポーツクラブについては、地域におけるスポーツ活動の拠点として、また、人材育成や地域づくりの観点からも非常に重要となってくるものと考えており、育成、充実を図っていく必要がある。 										
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）										
<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度にスポーツ推進計画の中間見直しを実施、事務事業がより効果的に実施できるよう見直しをする。昨年度開催した第二屋内運動場オープニングイベントの様々、大勢の市民が気軽にスポーツを体験し、スポーツに関心を持ち健康づくり、体力づくりにつながる事業を実施していく。 ・スポーツ振興事業補助金は、補助基準について見直しを行うとともに、広報等での周知や体育協会評議員会、連合自治総会などで説明を行うなど周知を図り、活用促進を図る。 ・総合型地域スポーツクラブは、自立して継続的にクラブ運営を行う必要があり、関係団体と関東会議を立ち上げ見直しの協議を進める。 ・30年度、「第2回スポフェスおおまち」を開催したが、本事業は大勢の市民の皆さんに、様々なスポーツを体験し関心をもっていただく機会として非常に効果的であり、規模や内容について見直しを図りながら充実を図っていく。 										

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会 部	体育 課	社会体育 係	事務事業No.	110522				
事務事業名	体育施設整備事業			会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			款	10	項	5	目	2
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実								
施策項目	スポーツの振興								
前期計画登載頁	47	頁	個別計画						頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の目的	生涯スポーツの推進のため、必要な施設を整備する。また、施設の在り方や利用効率等を参考にし、スクラップ&ビルドにより施設の在り方を検討し、必要な施設整備を行う。								
事業内容	H28 第二屋内運動場建設 H29 第二屋内運動場建設（繰越）、総合体育館トイレ改修、陸上競技場4種公認 H30 総合体育館音響設備更新								
事業費	年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
	総事業費（決算額）		155,293,553 円	22,676,647 円	9,747,454 円				
	財源内訳	国庫支出金		円	円	円			
		県支出金		円	円	円			
		起債		112,700,000 円	円	円			
		その他財源		4,800,000 円	4,284,000 円	円			
一般財源		37,793,553 円	18,392,647 円	9,747,454 円					
活動指標	指標名		単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	前年度（H30） 目標値	達成率 （%）	次年度（R元） 目標値
	①	工事金額	千円	126,835	8,120	0	0		90,000
	②	音響設備（備品）	千円			8,100	8,000	101.3%	0
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値
	①	工事	個所数	3	3	0	0		1
	②	音響設備（備品）				1	1	100.0%	0
	③								
	2. 数値で表せない効果 （指標）								

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	改善の余地あり			
点数	3	2	3	3	3	2				

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）	<p>体育課所管の施設が多数あり、老朽化も進み修繕に多額の費用が必要となるケースが生じている。利用頻度の低い施設であっても利用者があるため、利用者の安全を図るため対応が必要となることから、費用対効果が低い施設も存在する。施設の廃止も含めた具体的な整備計画の策定が必要。</p>
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）	<p>施設の修繕、改修、整備については計画的に実施し、施設の廃止も含めた在り方等については、スポーツ推進審議会や地元住民とも協議しながら進める。</p>

事務事業評価票

様式第2号

担当課	教育委員会	部	体育	課	社会体育	係	事務事業No.	110523			
事務事業名	繰越明許費体育施設整備事業					会計	一般会計				
まちづくりのテーマ	第1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					款	10	項	5	目	2
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実										
施策項目	スポーツの振興										
前期計画掲載頁	47		頁	個別計画							頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の目的	スポーツ施設の建設や大規模改修によりスポーツ施設の整備を図る。									
事業内容	H29～H30にかけて陸上競技場4種公認の取得に係る施設整備（前年度は、同繰越事業にて第二屋内運動場の整備を行った。）									
事業費	年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度			
	総事業費（決算額）		円		229,586,000 円		5,940,000 円			
	財源内訳	国庫支出金		円		円		円		
		県支出金		円		円		円		
		起債		円		218,100,000 円		円		
		その他財源		円		円		円		
一般財源		0 円		11,486,000 円		5,940,000 円				
活動指標	指標名		単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	前年度（H30） 目標値	達成率 （%）	次年度（R元） 目標値	
	①	工事金額	千円		229,586	5,940				
	②									
	③									
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度（H30）	達成率	次年度（R元）		
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	工事	箇所		1	1				
	②									
	③									
2. 数値で表せない効果 （指標）										

【事業の評価と今後の方向性】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
	評価	普通	普通	普通	重複なし	普通	適正である			
点数	2	2	2	3	2	3	事業完了終了	14	18	

【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）									
陸上競技場4種公認の取得については、5年ごとの更新が必要である。今後、必要性について検討したい。									
改善の方法等（上記の課題をふまえて令和元年度以降に実施する具体的な改善の内容）									